

愛知県感染症情報

平成 11 年第 52 週（12 月第 5 週）

（コメント）

年末年始の影響か、全体に報告数が少なくなっていますが、インフルエンザは増加傾向にあります。全国集計でも報告数は増加しています。

（先生方からのコメント）

- ・ 先週に続いて、嘔吐下痢症が流行しています。
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 病原性大腸菌 0-6 3才男 VT1、VT2(-)
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ マイコプラズマ 6才女
インフルエンザ A 児増加中。
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 感染性胃腸炎 { 病原性大腸菌 0-1 2人（3才男、4才男）、病原性大腸菌 0-18 20才以上男 }
インフルエンザ Flua 陽性 11名（12ヶ月未満男、2才男、2才女、4才男2名、5才男2名、6才女2名、8才女、10～14才男）
（知立市 近藤こどもクリニック）
- ・ 12月初旬から A 型インフルエンザが猛威を振るっています。
（豊田市 やふそ小児科）
- ・ マイコプラズマが 3人いました。
（豊田市 わかぞの東洋クリニック）
- ・ A 香港型インフルエンザの HI 抗体価の測定結果
1才3ヶ月男 4,096倍、4才4ヶ月男 1,024倍、34才女 1,024倍
白色便性下痢症 ロタウィルス抗原は陰性
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ 水痘流行持続。
インフルエンザ様疾患目立ってきました（5例中4例は Flua キット陽性。5才男は予防接種2回施行されています。4才男子は P.C. 合併）
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ ウイルス性胃腸炎が急増しました。インフルエンザ様疾患も少し増加しています。48例中33例は抗原検査で A 型インフルエンザと

確認。インフルエンザワクチン 2 回目接種後、8 日目に A 型インフルエンザに罹患した 8 才女例あります。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

- ・ 水痘症が多いようです。
(小牧市 鈴木小児科)
- ・ インフルエンザ様疾患が増加しています。
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ 3 才男 肺炎球菌による急性肺炎。
3 才女 インフルエンザ菌による急性肺炎などが発生しています。
今週もインフルエンザが多いですが、先週よりはやや減少しています。
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ 63 才男 水痘 孫から感染。
(半田市 医療法人林医院)
- ・ インフルエンザは全て A 型で迅速試験で確認
(一宮市 平谷小児科)
- ・ 今週も感冒性胃腸炎が多い
(一宮市 後藤小児科)
- ・ 嘔吐を伴うインフルエンザ多発 FluA(+)、アマンタジン著効。
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)

(1 ~ 3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症病原体保有者 1 名。

西尾保健所から報告の 6 才女 平成 11 年 12 月 29 日初診、平成 12 年 1 月 2 日診定。菌型は、0-157 VT2(+)

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

発生はありません。

第 50 週 (12 月 13 日 ~ 12 月 19 日) の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘など、冬期に流行のみられる疾患の報告数が多くなっている。特に感染性胃腸炎は全国的に流行が見られており、過去 10 年間で最高の流行曲線を描いている。インフルエンザは、宮城県で定点当たり報告数 11.10 、奈良県で 5.80 、大阪府で 5.39 と多くなっている。病原体としては、宮城県で A ソ連型、奈良県でも A ソ連型、大阪府では A ソ連型と A 香港型の両方が分離されている。(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋 厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)